

第1回レジリエンスサロン要約

日時: 2025年1月15日(水)20:00~21:15

参加者: 合計7名・・・以下、敬称略

ゲスト: 信州大学名誉教授 榎本祐嗣 先生

司会: 荒木道雄

参加者: 田中和明、寶示戸嘉子、大内照雄、上田悦久、徳田光雄

要点

チームは関東大震災の火災原因とメタンガスの危険性について議論し、リスク管理の新たな見解を探りました。彼らは今後の予定、関係機関からの反応、地震予知連絡会の見直しについても話し合いました。最後に、地下工事におけるメタンガス検知システムの必要性について議論しました。

・田中: メタンガス検知器と換気扇の設置について公共交通機関の関係者に情報を提供する。

・ 防災科学技術研究所の関係者に連絡し、メタンガスの研究について相談する。

荒木: 千葉県や宇宙衛星を使ったメタンガス観測でのメタンガス調査の可能性を検討する。

次回サロン(2月19日開催予定)で防災減災サステナブル大賞の受賞者を紹介準備を行う。

田中: 次回のサロンに参加者を招待し、周囲の人々にも参加を呼びかける。

要約

関東大震災の謎を明らかにする

榎本先生は関東大震災の火災の謎について研究し、防災減災のために実像を明らかにすることの重要性を強調する。

田中: 地下工事におけるメタンガスの危険性と、最近のロサンゼルス火災旋風の事例を挙げ、懸念を表明する。

荒木: メタンガスの地球温暖化への影響に言及。環境庁を通じて対策を講じる可能性を示唆。

<次頁につづく>

関東大震災の火災旋風

榎本先生は、関東大震災時の火災旋風について、気象学的な現象ではなく地下からのガス噴出による渦巻きが原因だという見解を示す。

田中：メルマガでの情報共有や公共交通機関へのメタンセンサー設置可能性について言及。

メタン危険管理の必要性

メタンガスのリスクとその管理について議論が行われる。

田中は、メタン濃度の検知や風向、風速、交通機関の機能状況を把握する仕組みの必要性を提案した。参加者は、メタンガスの危険性や硫化水素の危険性についても話し合い、できることから始めることの重要性を確認する。また、内閣府や消防庁からの反応や、地震予知連絡会の見直しについても言及された。

＜説明資料＞

1)「地中からの隠れた火種～首都圏直下型地震で起きうる火災リスク～」榎本祐嗣

減災サステナブル技術協会シンポジウム 講演資料(2024/10/25)

2)「地震・津波によるメタン湧出とジオハザード(丸善出版)」榎本祐嗣 編著

* 3) 上述2) 書籍の中の図表紹介

＜参考文献＞

4) 施設整備・管理のための天然ガス対策ガイドブック, 営繕工事における天然ガス対応のための関係官公庁連絡会議

https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000616915.pdf

5) 東京都地質調査業協会技術委員会(2014)特集、東京の天然(地中)ガス、技術ノート、No47

https://www.tokyo-geo.or.jp/technical_note/bv/No47/index.html?page=7

以上